

●当社次世代を担う立形研削盤を開発
～新製品「PGV-3」～

2015年6月4日に超生産型の立形複合研削盤「PGV-3」を発表いたしました。

「PGV-3」は、自動車のミッションギア等、小型量産部品の加工工程に革新をもたらす研削盤として開発しており、量産部品メーカー向け戦略機種として、当社の次世代を担う立形研削盤です。

コンセプトは「オートチャックチェンジシステム」による、「異なる工程の同時加工」と「非研削時間の大幅短縮」の実現。

「オートチャックチェンジシステム」を搭載することで、研削盤内に、2つの加工ステーションを設け、工程の異なる加工部位を同時に加工することを可能にしました。また部品の加工中に次に加工する部品の交換・段取り作業を行うことで、非研削時間を大幅に短縮いたしました。

更に1台の研削盤で2台分の加工を行うことで、従来の1/2以下の省スペース化を実現いたしました。

今後とも当社は、お客様のニーズを満たす製品・技術の開発に常にチャレンジし、世界の製造業の発展に貢献してまいります。



PGV-3
超生産型立形複合研削盤
自動車用ミッションギア等
小型量産部品の加工向け

●太陽工機プライベートショー2015

2015年6月18日～19日の2日間、当社本社工場にて太陽工機プライベートショー2015を開催いたしました。当プライベートショーは2009年より毎年開催しており、2012年からは2日目に一般の方向けの公開も行っております。

展示会では新製品の立形研削盤「PGV-3」を始め、昨年10月の発表直後から好評をいただいている「CVG-9」や高精度・高機能を追求した「NVGHシリーズ」、汎用性を重視した「Vertical Mate®シリーズ」を含む、合計30台以上の多彩なラインナップを出展いたしました。

今年も昨年同様1,000人を超えるお客様からご来場いただき、特に生産性を格段に高めるシステムと省スペース化を実現した新製品「PGV-3」がひととき注目を集め、高い評価をいただきました。

展示会中には当初計画を大きく上回る受注・引合をいただくとともに、今後の技術開発や事業展開につながる貴重なご意見やご要望もいただくことができ、大変多くの展示会となりました。

今後も当社は、お客様の多様なニーズに確かな答えを提供し続けてまいります。



(2015年6月30日現在)

●設立年月日	1986年3月14日
●資本金	7億32万8,200円
●発行可能株式総数	9,000,000株
●発行済株式の総数	2,978,200株
●本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
●従業員	178名
●主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売

●ネットワーク

国内拠点	本社・工場(長岡)	海外駐在拠点	中国(北京)(上海)
	東部営業所(さいたま)		ヨーロッパ
	中部営業所(名古屋)		アメリカ(シカゴ)
	西部営業所(大阪)		

●株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
中間配当金受領 株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
TEL 0120-782-031(通話料無料)

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.taiyokoki.com/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

公告の方法

ホームページのご案内

当社の詳しい情報はホームページよりご覧いただけます。



<http://www.taiyokoki.com/>



第31期(中間期)
Business report

2015年4月1日～2015年6月30日

株式会社 太陽工機

(証券コード: 6164)

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社における第31期中間期(2015年4月1日から2015年6月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告を申し上げます。よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2015年9月

代表取締役社長 渡辺 登

当中間期(第1四半期)の営業概況

当第1四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(平成27年4月1日から6月30日まで)が前年同期比で10.6%増加し、内需を中心に受注は好調に推移しております。

こうした状況の中、当社の受注状況も国内、海外ともに好調となっており、受注額は前年同期を大きく上回る高水準で推移しております。国内においては、自動車部品関連企業や産業機械関連企業、工作機械関連企業から、多数の複数台受注を獲得しており、今後も受注の拡大が見込まれます。海外においても、中国、韓国をはじめとしたアジアや米州、欧州等の幅広い地域で現地ユーザーからの新規受注が順調に増加してきております。

製品面では、6月に自動車のミッションギア等の量産加工をターゲットとした超生産型の立形複合研削盤[PGV-3]を発表いたしました。本製品は生産性を格段に高めるシステムを搭載するとともに、省スペース化を実現しております。同月に本社工場で開催したプライベートショーではひときわ注目を集め、お客様から高い評価をいただくことができました。

今後は10月に開催されるメカトロテックジャパン2015での新製品の発表に向け、昨年発表した中・大型部品加工用の立形研削盤[CVGシリーズ]のラインナップの拡充を推し進めてまいります。

当第1四半期累計期間の受注高は2,331,491千円(前年同期比60.6%増)となりました。

売上高につきましては、1,688,571千円(前年同期比91.6%増)となりました。

損益につきましては、営業利益180,741千円(前年同期は17,093千円の損失)、経常利益174,340千円(前年同期は24,026千円の損失)、四半期純利益102,633千円(前年同期は18,868千円の損失)となりました。

当中間期(第1四半期)の業績

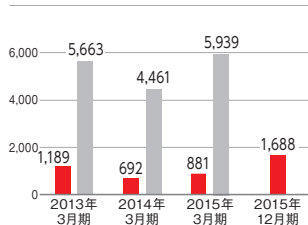
売上高
16億88百万円
(前年同期比 91.6%増)

営業利益
1億80百万円

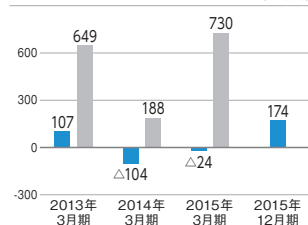
経常利益
1億74百万円

四半期純利益
1億2百万円

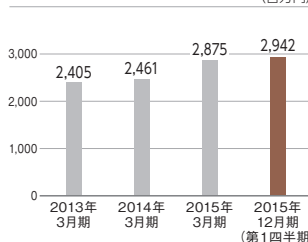
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



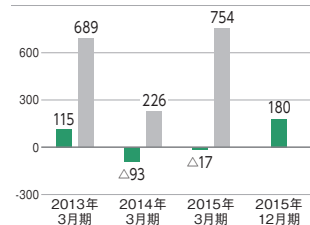
純資産 (百万円)



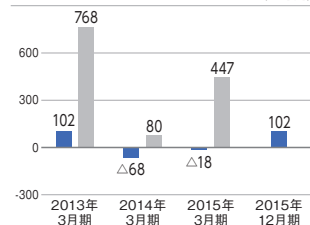
品目別売上高構成比



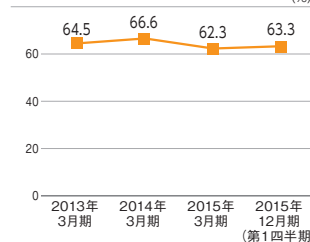
営業利益 (百万円)



純利益 (百万円)



自己資本比率 (%)



財務諸表

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前期末 2015年3月31日現在	当第1四半期末 2015年6月30日現在
【資産の部】		
流動資産	3,377,789	3,329,773
固定資産	1,238,424	1,316,909
(有形固定資産)	(1,156,550)	(1,233,614)
(無形固定資産)	(3,838)	(3,803)
(投資その他の資産)	(78,035)	(79,492)
資産合計	4,616,213	4,646,682
【負債の部】		
流動負債	1,051,537	1,026,820
固定負債	689,284	677,167
負債合計	1,740,821	1,703,988
【純資産の部】		
株主資本	2,875,391	2,942,694
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	472,960	472,960
利益剰余金	1,735,696	1,803,069
自己株式	△33,594	△33,664
純資産合計	2,875,391	2,942,694
負債純資産合計	4,616,213	4,646,682

損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第1四半期 自2014年4月1日 至2014年6月30日	当第1四半期 自2015年4月1日 至2015年6月30日
売上高	881,181	1,688,571
売上原価	631,744	1,179,210
売上総利益	249,436	509,360
販売費及び一般管理費	266,529	328,619
営業利益	△17,093	180,741
営業外収益	3,289	1,549
営業外費用	10,223	7,949
経常利益	△24,026	174,340
特別損失	1,549	-
税引前四半期純利益	△25,576	174,340
法人税等合計	△6,708	71,707
四半期純利益	△18,868	102,633

(注)当期より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2015年12月期は9ヶ月間の変則決算となります。